



中谷防衛大臣、沖縄全戦没者追悼式へ参列



○上部写真:追悼式で黙とうする中谷大臣(左から3人目)
 ○右部写真:追悼式で献花する中谷大臣

6月23日、中谷防衛大臣は、糸満市の平和祈念公園で執り行われた平成28年沖縄全戦没者追悼式に参列しました。追悼式では、先の大戦で亡くなられた方々のご冥福を祈りました。

目次

CONTENTS

沖縄における犯罪抑止に関する対策・・・・・・・・・・・・・ 2	キャンプ・ハンセン海兵隊員によるボランティア活動・・・ 5
県内企業の工事受注機会確保と平成27年度建設	キャンプ・シュワブ所属隊員等による辺野古区
工事契約実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3	との交流について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
特定給付金に係る地権者説明会開催・・・・・・・・・・・・・・ 3	伊江島海神祭ハーリー、嘉手納ハーリーで力漕・・・・・・・・ 7
嘉手納飛行場及び普天間飛行場周辺の航空機の騒音状況・・・ 4	糸満ハーレー、名城ハーリーに参加・・・・・・・・・・・・・・ 7
嘉手納飛行場における航空機の運用実態調査	お知らせとお願い・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
(目視調査)の結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5	お知らせ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

中谷大臣とニコルソン四軍調整官との面談

中谷防衛大臣は、嘉手納基地に勤務する米軍属が死体遺棄容疑で逮捕されたことを受け、5月21日、沖縄防衛局において、ニコルソン四軍調整官と面談しました。

その際に中谷防衛大臣は、ニコルソン四軍調整官に対し、「本事件は、残忍で凶悪な犯罪であり、言語道断で許されず、非常に深刻に受け止めていること。また、強い遺憾の意を伝えるとともに抗議し、米側が御遺族の心情に寄り添いながら、心のこもった対応を行うと同時に二度とこのようなことがないよう、綱紀粛正に努め、実効性のある再発防止策を徹底するよう」申し入れました。

この申し入れに対し、ニコルソン四軍調整官は、「被害者のご冥福を心からお祈り申し上げるとともに、被害者の御遺族に慎んでお悔やみ申し上げますこと。また、沖縄県警の捜査には全面的に協力し、今後、このような事件が二度と起こらないように努めて参りたい」との発言がありました。

沖縄における犯罪抑止に関する対策について

嘉手納基地に勤務する米軍属が死体遺棄容疑で逮捕されたことを受け、日本政府として、実効的な再発防止策の徹底等、厳正な対応を米国に対して求めているところです。

同時に、国民の生命と財産を守ることは政府の重要な責務であり、二度と今回のような悲惨な事件を繰り返さないため、犯罪を抑止し、沖縄県民の安全・安心を確保する徹底した対策を早急に推進することを目的として、5月26日、菅官房長官を長とし、関係府省庁の局長級(防衛省からは地方協力局長が出席)を構成員とする「沖縄県における犯罪抑止対策推進チーム」が設置されました。

6月3日、同チームの会合において、防犯パトロールの強化と安全・安心な環境整備の2点を対策の柱とする「沖縄県における犯罪抑止に関する対策」がとりまとめられました。防犯パトロールの強化については、沖縄総合事務局に車両100台規模の青色パトカーを使用した「沖縄・地域安全パトロール隊」を創設し、緊急防犯パトロールを実施することとし、6月15日から活動しています。

当局も、沖縄総合事務局とともに、車両10台により、沖縄県内の繁華街や学校周辺などにおいて防犯パトロールを行っています。



出発式における島尻沖縄担当大臣による訓示(於:沖縄総合事務局)



青色パトカー出発の様子



出発式前に井上局長から激励を受ける当局職員

県内企業の工事受注機会確保と平成 27 年度建設工事契約実績

防衛施設の建設工事の発注は、原則として一般競争入札によることとし、経済性に配慮しつつ価格以外の多様な要素も考慮する総合評価落札方式を適用しています。

また、県内企業の受注機会拡大の施策として、一定額未満の建設工事について地域評価型の総合評価落札方式を採用し、地産品の使用状況や地元企業の採用状況などの地域貢献度を評価項目とするほか、分離・分割発注の検討、競争参加資格の緩和、地域優良企業活用JV、複数工事の一括審査及び国の工事成績に加え地方公共団体の工事成績も評価するなどの施策を実施しているところです。

沖縄防衛局の平成 27 年度における建設工事契約実績は、総契約件数 98 件、総契約金額約 448 億円でした。このうち、県内企業の契約実績は、件数で 89 件、金額で約 266 億円、全体に占める割合は、件数で約 91%、金額で約 59% で、県内企業の受注率は高い水準となっています。平成 27 年度の県内企業の入札参加総数は、延べ 957 社(工事 1 件あたり平均約 9.8 社)でした。

なお、平成 26 年度において、県内企業の契約金額における受注率が 30% と低くなっていますが、県外企業による大型工事の受注が多かったためであり、県内企業の受注件数は 76 件(84%)、契約金額自体は 243 億円と、平成 25 年度に比べ高い実績となっています。

これは、当局が実施している県内企業の工事受注機会確保の施策によるものと考えており、今後とも引き続き関係法令の枠組みの中で、県内企業の受注機会確保に努めて参ります。

県内企業の皆様の積極的な入札参加をお待ちしています。

(参考)過去 3 年間における建設工事受注実績

		平成 25 年度			平成 26 年度			平成 27 年度		
		県外企業	県内企業	計	県外企業	県内企業	計	県外企業	県内企業	計
契約件数 (件)	総契約件数	10	69	79	15	76	91	9	89	98
	県内企業の受注率(%)	87%			84%			91%		
契約金額 (億円)	総契約額	46	112	158	568	243	811	182	266	448
	県内企業の受注率(%)	71%			30%			59%		

注:県内企業を含む建設共同企業体(JV)は、件数を県内に含めた金額を出資比率で按分

特定給付金に係る地権者説明会開催

6月9日、北中城村役場において、「特定給付金に係る地権者説明会」を開催しました。

「特定給付金」とは、いわゆる「跡地利用特措法」に基づき米側から返還された土地(返還跡地)の所有者に対し支給される給付金です。

返還跡地の所有者は、当該土地を使用かつ収益していない場合、同法に基づき、当該土地の引渡し後3年間給付金が支給されますが、返還跡地において土地区画整理事業が行われる時は、さらに一定期間この「特定給付金」が支給されることになります。

今般、キャンプ瑞慶覧旧泡瀬ゴルフ場跡地が特定給付金の支給対象となったことから、北中城村軍用地等地主会と北中城村アワセ土地区画整理組合からの依頼を受け、土地所有者に対し、特定給付金の制度や支給期間などについて説明を行いました。



説明会の様子

嘉手納飛行場及び普天間飛行場周辺の航空機の騒音状況について

沖縄防衛局は、嘉手納飛行場の滑走路両端2箇所及び同飛行場周辺12箇所の計14箇所並びに普天間飛行場周辺の滑走路両端付近2箇所を含む同飛行場の東西南北の計4箇所に航空機騒音自動測定装置を設置し、常時、騒音の発生状況及びその変化の把握に努めているところです。

下図に示す各測定点の航空機騒音状況について、平成25年度からは、航空機騒音に係る環境基準(昭和48年12月環境庁告示第154号)の一部改正(平成25年4月から適用)を踏まえ、WECPNL値とLden値(括弧書き)を併記することとしました。



(参考) 指定基準値について
 第一種区域75WECPNL → Lden62(dB)
 第二種区域90WECPNL → Lden73(dB)
 第三種区域95WECPNL → Lden76(dB)

嘉手納飛行場における航空機の運用実態調査（目視調査）の結果

1 調査目的について

沖縄防衛局では、嘉手納飛行場周辺住民等から、「日頃から外来機が飛来し訓練を実施するため騒音が増加している」、あるいは「平成18年5月の再編の実施のための日米ロードマップに基づく同飛行場所属の航空機の訓練移転期間中に外来機が飛来し訓練を行っているため騒音が増加し負担軽減が実現されていない」との御指摘を受けていることを踏まえ、外来機の飛来状況等について、平成22年4月から部外委託により目視調査を実施しています。

2 平成27年度調査結果(離着陸等回数)について

		常駐機と考えられる航空機			外来機と考えられる航空機			判別困難な航空機	合計
		戦闘機	戦闘機以外	小計	戦闘機	戦闘機以外	小計		
離着陸等回数	平成22年度	13,067回	17,726回	30,793回	7,692回	6,358回	14,050回	57回	44,900回
	平成23年度	9,720回	15,601回	25,321回	4,794回	5,826回	10,620回	19回	35,960回
	平成24年度	9,867回	17,259回	27,126回	4,583回	5,367回	9,950回	34回	37,110回
	平成25年度	14,914回	19,770回	34,684回	5,977回	6,365回	12,342回	52回	47,078回
	平成26年度	14,511回	17,303回	31,814回	3,398回	7,229回	10,627回	5回	42,446回
	平成27年度	14,176回	16,121回	30,297回	5,454回	7,716回	13,170回	0回	43,467回
1日当たり平均回数	平成22年度	35.8回	48.6回	84.4回	21.1回	17.4回	38.5回	0.2回	123.0回
	平成23年度	26.7回	42.8回	69.5回	13.2回	16.0回	29.2回	0.1回	98.8回
	平成24年度	27.4回	47.9回	75.3回	12.7回	14.9回	27.6回	0.1回	103.0回
	平成25年度	41.0回	54.3回	95.3回	16.4回	17.5回	33.9回	0.1回	129.3回
	平成26年度	39.9回	47.5回	87.4回	9.3回	19.9回	29.2回	0.0回	116.6回
	平成27年度	38.8回	44.7回	83.0回	14.9回	21.1回	36.0回	0.0回	119.0回
56	平成22年度	29.1%	39.5%	68.6%	17.1%	14.2%	31.3%	0.1%	100.0%
	平成23年度	27.0%	43.4%	70.4%	13.3%	16.2%	29.5%	0.1%	100.0%
	平成24年度	26.6%	46.5%	73.1%	12.3%	14.5%	26.8%	0.1%	100.0%
	平成25年度	31.7%	42.0%	73.7%	12.7%	13.5%	26.2%	0.1%	100.0%
	平成26年度	34.2%	40.8%	75.0%	8.0%	17.0%	25.0%	0.0%	100.0%
	平成27年度	32.6%	37.1%	69.7%	12.5%	17.8%	30.3%	0.0%	100.0%

※計数は四捨五入しているため合わない場合がある

調査結果の詳細については、当局ホームページ (<http://www.mod.go.jp/rdb/okinawa/>) に掲載しています。

3 目視調査結果の活用について

平成27年度目視調査の結果については、1年間(平成27年4月1日から平成28年3月30日まで、午前6時から午後6時まで)の調査を終え、本年6月に公表しました。当局としては、平成28年度においても、調査を継続してデータの蓄積を行い、嘉手納飛行場における航空機の運用実態の更なる把握に努め、同飛行場から派生する騒音問題等に関し、周辺住民の方々の負担軽減に資することができるよう活用したいと考えております。

キャンプ・ハンセン「アースデイ」の取り組みについて

【キャンプ・ハンセン基地渉外官 嘉陽貴幸】

キャンプ・ハンセンは、地域の清掃活動や美化活動に積極的に協力しています。そして毎年4月の「アースデイ」にちなんで行われる取り組みは、今年で4年目になります。

まずは50名以上の海兵隊員と金武町立保育所の子供達が億首川周辺のごみを拾い、自然に触れながら私達が住む地域の環境へと想いを馳せました。

その後キャンプ・ハンセン司令官夫人、キャンプ代表者と金武町長及び保育所の子供達による湿地帯でのマングローブの植樹を行い、湿地帯の持つ浄化機能やマングローブの自然界での役割などを学びました。

キャンプ・ハンセンの海兵隊員等はこの取り組みを通し、キャンプの周辺に存在する金武町の豊かな自然環境を学び、風光明媚な景観を楽しむ非常に貴重な経験を得るのです。

今後もより良い地域づくりのために、キャンプ・ハンセンは地域の皆様と緊密に連携して参ります。



参加者全員で清掃活動



マングローブを植栽する様子

辺野古区主催のキャンプ・シュワブ、オドム司令官送別会開催

6月9日、辺野古区主催のオドム司令官送別会が、キャンプ・シュワブ内のビーチヘッドクラブで開催されました。当日は、オドム司令官のほか、奥様のミシェルさん、ご令嬢のターシャさん、ご息子のバレットさんも交えた、ファミリーでの参加となりました。

オドム司令官は、平成26年6月の着任以来、地元地域との交流に尽力され、イースター、ハロウィーン、クリスマスなどの季節ごとのイベントに地元子ども達や区民を招待したり、少年野球などに基地を開放するなど、スポーツを通じての交流にもご尽力いただきました。また、このような交流の輪を辺野古区だけではなく、近隣の豊原区、久志区へも広がられました。

当日は、嘉陽辺野古区長が2年間の労をねぎらう感謝状を贈呈し、「辺野古とキャンプ・シュワブは50年以上もの良好な関係の歴史があり、日本広しと言えども、区内の班として認められている基地はキャンプ・シュワブだけ。」と挨拶されました。また、当局からの感謝状を儀保名護防衛事務所長が贈呈しました。

送別会では、2年間の思い出話に、笑い声が響き渡っていました。



送別会で記念撮影するオドム司令官(前列右から5人目)

辺野古区行事でキャンプ・シュワブ海兵隊員が活躍!

5月15日、辺野古ハーレーが開催されました。当日は、晴天に恵まれ、強い日差しの中、会場の松田ヌ浜では区内10班及び11班であるキャンプ・シュワブチーム、職域など総勢41チームが熱戦を繰り広げました。

辺野古ハーレーにキャンプ・シュワブの海兵隊員が参加するようになった歴史は古く、今から42年前の昭和48年に遡ります。

また、キャンプ・シュワブの海兵隊員は、ハーレー開催に先立つ5月12日、辺野古区老人会と協同で清掃活動を行ったほか、老人ホームや養護施設への訪問などのボランティア活動やハーレー大会、青年会主催の角力大会への参加など、伝統的に「辺野古11班」として辺野古区と親密な関係を保っています。



キャンプ・シュワブ隊員と辺野古老人会の清掃活動



迫力満点の角力大会



辺野古ハーレーで力漕する当局チーム



キャンプ・シュワブチームも力漕

伊江島海神祭ハーリー、嘉手納ハーリーで力漕

6月8日、伊江港内(大口の浜)において恒例の海神祭(伊江島ハーリー)が開催されました。

沖縄防衛局は、これまで2回参加しているところ今年も職域の部に参加し、「今年こそは決勝進出」と意気込んで女性職員を含む局職員11名が櫂を手に力漕しましたが、残念ながら予選落ちとなってしまいました。

結果はともかく、伊江村役場など地元チームと共にレースに参加し、今年もたくさんの地元の方々と交流を深めることができ、楽しい1日となりました。

また、6月12日には、嘉手納漁港において嘉手納ハーリーが開催され、当局は井上局長を含めた3チームが参加しました。

当日は雨風の強い悪天候の中、参加した局職員は練習以上の力を発揮し懸命に漕ぎましたが、健闘むなしく予選敗退となりました。



伊江島ハーリーに参加する当局チーム



嘉手納ハーリーで力漕する当局チーム

糸満ハーレー、名城ハーリーに参加

【寄稿：航空自衛隊与座岳分屯基地渉外係】

6月8日、糸満市が県内外に誇る祭事、糸満ハーレーが糸満漁港で開催されました。この行事は、大漁と航海安全、集落の繁栄を祈願するウミンチュ(漁師)の祭りで、ハーレー舟(サバニ)による競漕が盛大に行われます。また、伝統保持の観点から、休日・平日関係なく、必ず旧暦の5月4日に実施されることも特徴の一つです。

航空自衛隊与座岳分屯基地は、地域交流の一環として、50以上の団体が登録する職域対抗のハーレー競漕に毎年積極的に参加しています。今年も、昨年の成績を上回るべく選抜された隊員達が猛特訓を重ねハーレー競漕の盛り上がりにも貢献しました。

当日はハーレー競漕の他、観客も参加可能なアヒル取り・スイカ取り競争も行われ、糸満市民のみならず県内外、海外からの観客も水しぶきを上げて楽しんでいました。

また、同分屯基地としては同日、糸満市北名城ビーチにおいて実施された名城ハーリーにも参加しました。名城ハーリーも糸満と同様の意味を持つ祭事です。こちらは規模は小さいものの、区民総出の手作り型行事であり、とてもアットホームな感じとなっています。当基地は招待ハーリーチームとして参加しました。名城ハーリーは、自然の湾の地形を利用した競技会場のため、天候・海洋条件の克服!が求められます。また、約860メートルを漕ぎ、岸に着岸した後、神木にぶら下げられている酒瓶を取るまでが勝負であるユニークなものとなっています。去年は、途中で転覆という会場盛り上げ役を担った我々ですが、今年は見事、1着で勝利の美酒をゲットすることができました。

与座岳分屯基地は、今後も地域社会の一員として、皆様との交流を大事に実施して参ります。



糸満ハーレーで力漕する与座岳分屯基地チーム(手前)



名城ハーリーにおいて1着でゴールする様子

お知らせとお願いについて

航空機へのレーザー光線の照射は、パイロットの目の負傷、失明、操縦への障害に繋がり、墜落等による大惨事を地域にもたらしかねない大変危険で悪質な行為であり、また、航空機の飛行ルート下における風揚げ等は、航空機の事故や風等を揚げている人の大げがにつながるおそれがある大変危険な行為です。

航空機に向けてレーザー光線を照射している人や航空機の飛行ルート下において、航空機の安全な運航を妨害するような方法等で風や風船を揚げている人を見かけた方は110番通報をお願いいたします。

【本チラシの内容についてのお問い合わせ先】


防衛省本省地方協力局地方協力企画課連絡調整室(代表) 03-3268-3111(内線:36688)

防衛省沖縄防衛局企画部地方調整課連絡調整室(代表) 098-921-8131(内線:226)

お知らせとお願い

レーザー光線の照射により航空機の安全な運航を妨害することは犯罪です。
(最も重い刑で懲役3年(※))

沖縄県内で飛行中の航空機に対してレーザー光線を照射するという事案が発生しています。



航空機へのレーザー光線の照射は、パイロットの目の負傷、失明、操縦への障害に繋がり、墜落等による大惨事を地域の皆様にもたらしかねない大変危険で悪質な行為です。

航空機に向けてレーザー光線を照射している人を見かけた方は110番通報をお願いいたします。


(※)刑法の威力業務妨害罪に該当する場合は3年以下の懲役又は30万円以下の罰金。
なお、航空機飛行妨害罪の航空機操縦に該当する場合は、3年以上の有期懲役。

外務省、防衛省、警察庁、国土交通省

お知らせとお願い

風や風船を揚げる行為により航空機の安全な運航を妨害することは犯罪です。
(最も重い刑で懲役3年(※))

普天間飛行場周辺における航空機の飛行ルート下において、風や風船を揚げる事案が発生しています。



航空機の飛行ルート下における風揚げ等は、航空機の事故や風等を揚げている人の大げがにつながるおそれがある大変危険な行為です。

航空機の飛行ルート下において、航空機の安全な運航を妨害するような方法等で風や風船を揚げている人を見かけた方は110番通報をお願いいたします。

(※)刑法の威力業務妨害罪に該当する場合は3年以下の懲役又は30万円以下の罰金。
なお、航空機飛行妨害罪の航空機操縦に該当する場合は、3年以上の有期懲役。

外務省、防衛省、警察庁、国土交通省

【お知らせ】米軍基地での勤務を希望される方へ

在日米軍従業員の事前募集受付中！

応募は24時間いつでも受付可能なインターネットがおすすめです！

HPアドレス：<http://www.lmo.go.jp> で検索できます。

応募資格 沖縄県在住の満18歳以上の方

応募方法 インターネット又は窓口のいずれか1回の応募で有効です。
 ・インターネット:エルモのHP (<http://www.lmo.go.jp>)を開き、【求人情報】の【沖縄県における事前募集】を御覧ください。(スマートフォンはインターネット応募と同様)
 ・窓口応募:指定の応募用紙に必要事項を記入の上、お申込みください。
 ・応募用紙は下記受付窓口にて配布しています。

受付時間 インターネット:年中24時間受付中
 ・窓口応募:受付時間は午前9時~午後5時30分(土曜・日曜、祝日及び12月29日~翌年1月3日を除く。)

受付窓口・お問合せ先  **独立行政法人 駐留軍等労働者労務管理機構(エルモ) 沖縄支部 管理課**
 嘉手納町字屋良1058番地1(道の駅かでな隣り) **TEL(098)921-5532**



ハイサイくん

「はいさい」に対する皆様のご意見・ご感想などがありましたらお聞かせください。
 連絡先: 沖縄県中頭郡嘉手納町字嘉手納 290-9 沖縄防衛局総務部報道室
 メールアドレス: houdou@okinawa.rdb.mod.go.jp